

6 再整備における建物の配置パターン

- 県庁舎等は複数の棟で構成しているため、再整備における建物の配置については多数のパターンが考えられます。そこで、各棟の再整備を効率的に連続させて合理的な整備期間とすることや、工事期間中も含めて業務継続性を保つこと等を考慮し、相応の実現可能性がある以下の5つの配置案を、今後の検討のベースとするための代表的な案として整理しました。
- 今後の庁内での検討に加え、県議会や有識者等からの意見を踏まえ、配置案の絞り込みを行います。

再整備による新庁舎の配置で重視したい点

1. 再整備後における庁舎の機能性

- ・整備後の執務環境の改善や業務効率の向上
- ・高層化に伴うエレベーター等の縦動線を踏まえた執務室面積の確保
- ・セキュリティを踏まえた、議員・職員・来庁者の動線の分離

2. 将来を見据えた敷地の有効活用

- ・将来の整備用地の確保
- ・恒久的な庁舎の建替えサイクルの実行を可能にする配置
- ・様々な利用を想定した敷地の使いやすさ

3. 整備期間中の業務等への影響

- ・仮移転などの負担を軽減
- ・整備期間中の庁舎間の動線の確保
- ・整備期間中の業務継続性の確保






4. 整備コスト

- ・配置の違いによる整備コストへの影響
(最も整備コストが低い案を100とした場合の費用比較)

5. 周辺環境への影響

- ・街並み(景観)や、建物周辺の風環境への影響
- ・県庁舎等の敷地と都川や羽衣公園とのつながり

代表的な配置案

	配置案①	配置案②	配置案③	配置案④	配置案⑤
	別棟(順次建替え)パターン	一体棟(高層)パターン	一体棟・南庁舎残置パターン	別棟(2棟同時竣工)パターン	一体棟(低層)パターン
再整備完了時の配置イメージ					
配置案の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・議会機能と行政機能は別棟で整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会機能と行政機能を一体棟で整備 ・建築面積が小さく建物は高層となる 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会機能と行政機能を一体棟で整備 ・南庁舎を残置する 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会機能と行政機能は別棟で整備 ・2棟を同時に竣工させる 	<ul style="list-style-type: none"> ・議会機能と行政機能を一体棟で整備 ・建築面積を大きくして建物の高さを抑える

● 代表的な配置案の整理 (前ページのつづき)

		配置案①	配置案②	配置案③	配置案④	配置案⑤
		別棟 (順次建替え) パターン	一体棟 (高層) パターン	一体棟・南庁舎残置パターン	別棟 (2棟同時竣工) パターン	一体棟 (低層) パターン
再整備完了時の 配置イメージ (A, B, Cは、表下段の 街並みにおける 庁舎等の見え方の 視点を示す)						
	整備完了時の 庁舎等全体の 規模のイメージ					
街並みにおける 庁舎等の見え方	A. 北から (羽衣橋後方から)					
	B. 西から (モルレル後方から)					
	C. 南西から (現在の羽衣公園の 南西角から)					

● 代表的な配置案の整理 (前ページのつづき)

	配置案①	配置案②	配置案③	配置案④	配置案⑤
	別棟 (順次建替え) パターン	一体棟 (高層) パターン	一体棟・南庁舎残置パターン	別棟 (2棟同時竣工) パターン	一体棟 (低層) パターン
再整備完了時の配置イメージ					
1 再整備後における庁舎の機能性	<ul style="list-style-type: none"> 各棟が近接 低層部の一体的な利用も可能 	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎間に距離あり 高層一体棟のため、効率的な執務面積の確保に課題が生じる可能性がある 	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎間に距離あり 行政機能が3カ所に分散 庁舎がモノレール駅から近い 	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎間に距離あり 庁舎がモノレール駅から近い 	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎間に距離あり 庁舎がモノレール駅から近い
2 将来を見据えた敷地の有効活用	<ul style="list-style-type: none"> 羽衣公園に隣接した広くまとまった空地を確保 	<ul style="list-style-type: none"> 羽衣公園に隣接した広くまとまった空地を確保 	<ul style="list-style-type: none"> 将来整備用地は確保可能 	<ul style="list-style-type: none"> 将来整備用地は確保できるが、その次の整備に課題あり 	<ul style="list-style-type: none"> 将来整備用地は確保できるが、その次の整備に課題あり
3 整備期間中の業務等への影響	<ul style="list-style-type: none"> 整備期間 約13年 南庁舎の仮移転が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 整備期間 約10年 南庁舎の仮移転が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 整備期間 約9年 	<ul style="list-style-type: none"> 整備期間 約10年 (南庁舎を仮移転しない場合、整備期間は長くなる) 	<ul style="list-style-type: none"> 整備期間 約11年 南庁舎の仮移転が必要
4 整備コスト	<ul style="list-style-type: none"> 建設費105(指数) 維持費107(指数) 	<ul style="list-style-type: none"> 建設費104(指数) 維持費105(指数) 	<ul style="list-style-type: none"> 建設費100(指数) ※ 南庁舎単体建替え費用を含む ※ 移転費を考慮する場合 → 建設費103(指数) 維持費100(指数) 	<ul style="list-style-type: none"> 建設費107(指数) 維持費108(指数) 	<ul style="list-style-type: none"> 建設費107(指数) 維持費108(指数)
5 周辺環境への影響	<ul style="list-style-type: none"> 敷地東側に対する圧迫感があるため、軽減の配慮が必要 建物の間隔がやや狭いため、建物間を吹き抜ける風への配慮が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 敷地南東側に対する圧迫感があるため、軽減の配慮が必要 建物から吹き降ろす風や建物角周辺の風への配慮が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 都川と羽衣公園のつながりが期待できる 南庁舎との統一性が課題 建物から吹き降ろす風や建物角周辺の風への配慮が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 都川と羽衣公園のつながりが期待できる 敷地東側、南東側への圧迫感軽減が可能 建物から吹き降ろす風や建物角周辺の風への配慮が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 都川と羽衣公園のつながりが期待できる 近隣への圧迫感軽減が可能 ピロティ部分を吹き抜ける風や壁面を吹き降ろす風への配慮が必要